



びすけっと

225号—2021年9月—

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

親の会 びすけっと

もっとみなさんにつながれるように…

Instagram始めました!

https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/



がんの子どもを守る会 2021年度年次大会 web 講演会

「小児がん経験者の健康管理」 愛媛県立中央病院小児医療センター長 石田也寸志先生

4. 二次がんーがん検診で注意すべきこと

経験者の累積発症割合は、診断後20年で2~4%とされる。年数と共に増加し、50歳前後では10%を超えと言われる。乳がん、大腸がん、甲状腺がんには検診が有用。経験者は一般より若い年齢で発症する人が増える。早めに検診を開始し、異変があればすぐに受診する。リスクを減らす生活習慣を心がけ、健康管理のために何らかの形で医療機関との関係を維持するように努めることが大切。

新型コロナウイルス感染症について、小児がん経験者における実態はまだはっきりしていない。前田美穂先生がまとめた情報について(会報221号参照)

5. 支援ツールと成人医療移行

JCCG 長期フォローアップ委員会は、書籍「小児がん経験者のために」*1(医薬ジャーナル社)、治療のまとめ(サマリー、会報219号参照)、フォローアップ手帳、長期フォローアップガイドライン(会報212号参照、2021年9月改訂版出版予定)、教育ツール、復学支援ツール(ナビゲーションブック)等を作成している。日本造血細胞移植学会は移植後長期フォローアップのガイドライン*2を作成している。

移行期医療について、第1段階は合併症のリスクに基づいた長期フォローアップ計画を立てる時期。第2段階はヘルスケアの時期で、成人医療へ移行する時期。自分の身は自分で守るという自覚が重要。自分の病気とリスクを知り、ツールを活用し適切なフォローを受け、大人になったら成人期移行ができるよう自立していくことが大切。無病息災ではなく、1病息災が目標。病気を経験したからこそ自分を見つめ直し健康管理に意識的になることで、より健康寿命を長くできる。(次号につづく)

*1 現在この書籍の取り扱いはありませんが、がんの子どもを守る会のHPに無料でダウンロードできる資料があります。(柳戸)

http://www.ccaj-found.or.jp/materials_report/cancer_material/



←がんの子どもを守る会HP

*2 日本造血細胞移植学会 移植後長期フォローアップガイドライン

https://www.jshct.com/modules/guideline/index.php?content_id=1

ガイドライン→



ドナルド・マクドナルド・ハウスさいたま5周年記念医療講演会

共催:みんなで病院を育てる会

日時 2021年10月10日(日) 10:30~12:00 オンライン(Zoom)または会場参加

内容 「埼玉県立小児医療センターの小児がんの最新医療・現状」

講師:埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍科 康勝好先生

※申し込み方法など詳しくは、びすけっとのInstagramをご覧ください。

次回のびすけっとは、10/12(火)11:00~

相談室B(2F 総合受付奥)

びすけっと連絡先:代表 柳戸 民子

〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5

TEL 049-271-4708(留守電)

e-mail yanagido@t.zaq.jp

※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、以下の点にご注意下さい。

- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
- ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、職員専用通路内にある来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、来る前にインスタやLINEで確認してね。

柳戸LINE、QRコード
ラインでのご連絡もOK!

